

2007年度文部科学省「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」採択

## 「学生之力」を活かした学生支援体制の構築

ークラス・ゼミ(正課教育)、クラブ・サークル(正課外教育)に次ぐ「第3のコミュニティ」づくりー

# Hosei PSC(ピア・サポート コミュニティ)概要説明

木原章(法政大学市ヶ谷学生センター長、経営学部教授)

# Hosei PSCのコンセプト

【キーワード】



●ピア・サポート  
学生が学生を支援する。

●PSCサイクル  
かつて支援を受けた学生が、  
支援する側に転化していく。

●第3のコミュニティ  
クラス・ゼミ(正課)、クラブ・  
サークル(正課外)とは異なる、  
新たなコミュニティ。

●社会人基礎力  
プロジェクトは学生と大学との  
協働体制。実践的な活動から  
社会人基礎力を身につける。

# 7つのプロジェクト

## 課外教養プログラムプロジェクト

授業では体験できない「プログラム」を企画・運営する。

## エンパワーメントプロジェクト

「スキルアップ・プログラム」を企画・運営する。

## ボランティア支援プロジェクト

学内の「ボランティア支援体制」を構築する。

## 障がい学生支援プロジェクト

学内の「障がい学生支援体制」を構築する。

## 同郷会プロジェクト

「都道府県人会」の設立を目指す。

## キャリア支援プロジェクト

就職活動を終えた上級生が、下級生をサポートする。

## ピア・サポートプロジェクト

「学生が学生を支援する」仕組みを考える。

# 課外教養プログラムプロジェクト



## オレンジアスリートフォーラム

体育会の魅力を伝えること、  
体育会の学生を身近に感じてもらうことを  
目的に、日頃接点のない一般学生と体育  
会学生との「交流の場」をつくった。



## チーム阿波踊り

学部・学科・学年・キャンパスの異なるメン  
バーで即席チームを結成。  
地域の方に教わりながら練習を重ね、  
「神楽坂まつり」に参加した。

# ボランティア支援プロジェクト



## 春のボランティアWEEK

日頃、別々に活動しているボランティアサークルが一体となり、ボランティアへの「参加促進イベント」を実施した。



## 富士山清掃ボランティアツアー

富士山クラブの指導のもと、富士山麓で不法投棄されたゴミ清掃活動を実施した。

# 同郷会プロジェクト



## 新入生サポーター

春に「同郷会交流窓口」を開設し、地方から上京したばかりの新入生の質問に答え、不安を解消した。

HOW  
TO  
一人暮らし

一人暮らしの  
ノウハウを  
この冊子に

## 『How to 一人暮らし』

「部屋探し」「自炊」「大学周辺のおすすめスポット」など、一人暮らしに役立つ情報を掲載した冊子『How to 一人暮らし』を作成、配布した。

# 学生スタッフ数

プロジェクト	学生スタッフ数
課外教養プログラムプロジェクト	36名
エンパワーメントプロジェクト	
ボランティア支援プロジェクト	30名
障がい学生支援プロジェクト	43名
同郷会プロジェクト	98名
キャリア支援プロジェクト	16名
ピア・サポートプロジェクト	15名
計	238名

2008年度は、93プログラムに、約7100名参加

Hosei PSCの柱

# ボランティア支援プロジェクト

(VOLUNTEER SUPPORT PROJECT = VSP)

## 活動説明



# 概要



# 構成

約18名ほどで構成されている

# 団体目的

ボランティアをしたいと思う人、  
また行っている人の支援



# 活動理念

以下の役割を根底に置き、活動をする。

- 耳： ボランティアの声を聞く、情報を聞く(ニーズを汲み取る、他大学や地域からの情報を聞く)
- 目： 状態を確認、アンテナの役割(ボランティアの現状を認識する)
- 口： PR、情報発信(VSPから大学や学生・社会に向けて)
- 手： ボランティアのコーディネート、学生・地域の人をつなぐ
- 脳： 学生主体、情報の発信源
- 心： 楽しませる、喜ばせる、思いやり



# 学生スタッフの主な活動内容

①学内ボランティア系サークルの支援

②基幹プロジェクト(次ページで説明)の企画参加

③スキルアップ講座の開講

◎その他、学生企画イベント、学生意識調査、センター内掲示、ブログなども行っている。



# 基幹プロジェクトとは

法政大学ボランティアセンターが企画した「ボランティア体験」ツアーのこと。2009年度は4本企画している。

- 富士山清掃ボランティアツアー  
(8月9日 山梨県富士吉田市)
- 林業体験ボランティアツアー  
(9月1～2日 埼玉県秩父郡皆野町)
- 夕張まちづくりボランティアツアー  
(9月12～18日 北海道夕張市)
- 野田市郷土博物館ボランティア  
(3月8日 千葉県野田市)

# 今期目標

- ボランティアセンターを認知してもらう
- ボランティア情報の受信・送信



# 活動実績



(①学内ボランティア系サークルの支援)

## 春のボランティアウィーク2009

# ～ボランティアサークルってどんなところ?～

### <イベント趣旨>

主に新生を対象とした、ボランティア系サークル(約10サークル)の合同新生歓迎会イベント。展示・説明会、また、冊子などを作成した。

時期:4月20日～24日



# 結果

- 集客人数：約150人（展示を軽く見た人も含む）
- 5日間で多くの人を巻き込めた。新入生はサークルに興味がある人が多く、ニーズに合っているイベントとなっている。今後も引き続き行っていく予定。



(①学内ボランティアサークルの支援、②基幹プロジェクトの企画参加)

# 夏のボランティアウィーク2009

## <イベント趣旨>

ボランティアセンターの基幹プロジェクト、ボランティア系サークルを中心とした展示を行った。また、基幹プロジェクトである、夕張ボランティア・林業体験の説明会も実施した。

時期:6月29日～7月3日



# 結果

- 集客人数：約130人  
(展示：100、説明会30)
- イベント期間中に、基幹プロジェクトの申込用紙を受け取る人が多くいた。イベント終了後、すべての基幹プロジェクト(3プロジェクト／富士山・林業・夕張)は定員に達した。ボランティアニーズの高さが確認されたイベントとなった。



(②基幹プロジェクトの企画参加)

# 基幹プロジェクト企画参加

○役割：企画サポート

→学生の声を入れることにより、よりよい企画になった。

○具体的な活動

学生の交流、振り返りのグループワーク  
その他、準備・進行など

○アンケート結果より、満足度の高い企画となった。



## ■ 富士山清掃ボランティア

8月9日に日帰りで実施。参加者40名(満員)。NPO法人富士山クラブの指導の下、山梨県の富士山麓で不法投棄されたゴミを小型トラック1台分回収。



## ■ 林業体験ボランティア

9月1～2日に1泊2日で実施。参加者38名(満員)。昨年、埼玉県秩父郡皆野町と協定を結んで誕生した「法政の森」内で除伐作業を実施。



## ■ 夕張まちづくりボランティア

9月12日～18日まで財政破綻した北海道の夕張市にてボランティアを実施(夕張滞在は実質4日間)。参加者38名(満員)。廃墟となった遊園地の花壇設置や、再建提案作成のための市民への聞き取り調査、資料の整理などのボランティアを行う。



- その他、基幹プロジェクトとして、3月に博物館ボランティア(野田市郷土博物館)を予定。基幹プロジェクト以外にも、ペルセウス座流星群観察(8月11日・12日/多摩ボラセン実施)、10月よりボランティアを知る連続講座(全10回予定/学内)、市ヶ谷・九段地区大学周辺清掃ボランティア(月3回程度/東京都と九段環境整備協議会と提携)などを予定

(スキルアップ講座の開講)

# ロジカル・ライティング講座

## <イベント趣旨>

論理的な、伝わりやすい文章の書き方を学ぶ。ボランティアサークルにも声をかけ、参加を募った。50人以上の参加者があった。

ゼミ・サークル・就職活動など、幅広いフィールドで活かしていきたいとの意見が多数あった。

○時期：6月6日

※その他、コーチング講座(5月16日)  
も開講した(参加者28名)。



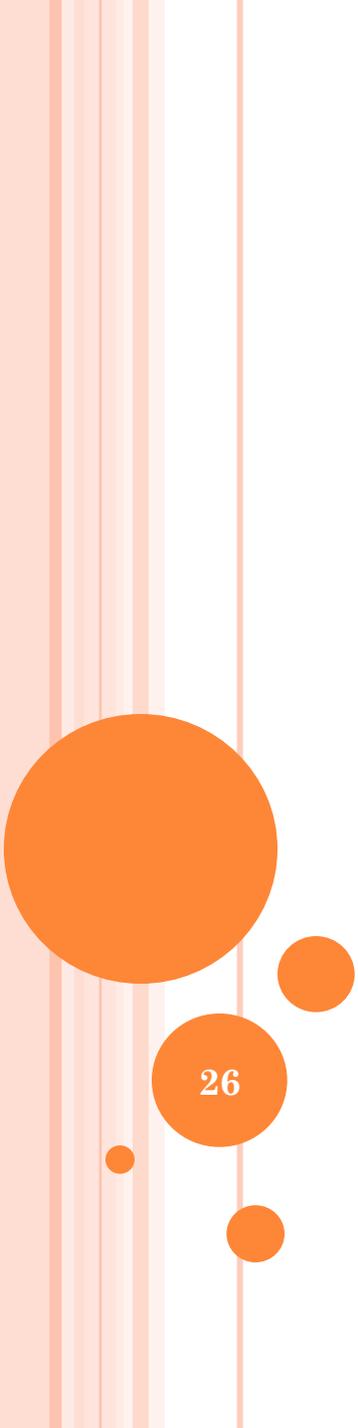
# 今後の活動予定

- ボランティアセンター新聞作成  
ボランティアセンター主催のイベント「基幹プロジェクト」や、学生スタッフの活動を発信していく。
- 他大学ボランティアセンター訪問  
他の大学を見ることにより、自分たちのあり方を見つめなおす。
- 千代田区のイベントに参加（地域貢献を強化）  
千代田ボランティアウィークのイベントに参加。また町内会等と提携して地域清掃をするなど結びつきも強くしていく方向。



ご静聴ありがとうございました





# 同郷会プロジェクト

26

神奈川県出身

牛田 亘

大阪府出身

西村 大樹

# 発表の流れ

- 同郷会の紹介
- 法政大学生の都道府県別在籍者数
- 活動紹介
- これまでの問題点
- これからの課題

# 同郷会の紹介

## ○ 目的

都道府県人会の設立

学部・学年を超えて学生同士が気軽に交流できる機会を提供  
卒業後も同窓生どうしがお互いに交流できるきっかけ作り

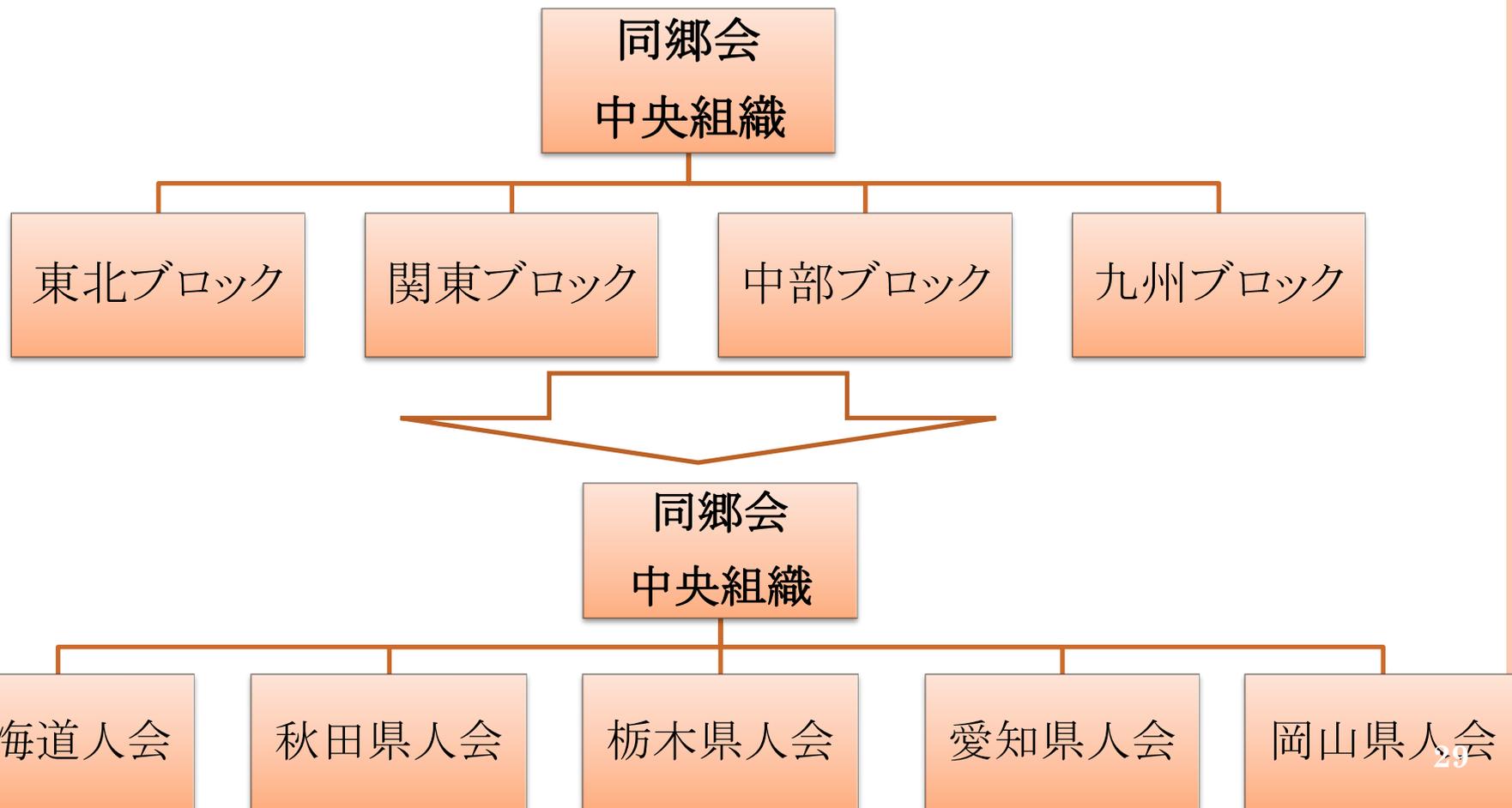
## ○ 登録会員数

約100名

## ○ 学生スタッフ

約10名(うちコアスタッフ5名)

# 同郷会組織図(案)



# 同郷会プロジェクト会員数

神奈川 12人

東京 3人

埼玉 1人

千葉 10人

茨城 4人

静岡 5人

愛知 3人

群馬 1人

長野 3人

新潟 5人

栃木 2人

北海道 4人

福島

福岡 4人

宮城 5人

山梨 1人

広島

青森 1人

岐阜 2人

富山 5人

石川 3人

三重

大阪 1人

山形 2人

秋田 4人

岡山 2人

兵庫 1人

愛媛 3人

山口

熊本

福井 2人

岩手 1人

鹿児島 2人

沖縄 2人

大分 1人

香川 2人

高知 1人

長崎 3人

宮崎

佐賀 2人

徳島 1人

京都 1人

和歌山

島根

鳥取

奈良

滋賀

**計105名**

## 2008年度の活動紹介

- ～3月 HOW TO ひとり暮らしの作成
- 4月初旬 同郷会登録勧誘
- 4月中旬 同郷会交流会
- 4月下旬 六大学野球観戦ツアー
- 6月中旬 副都心線ツアー
- 7月初旬 PSCプロジェクトセミナー
- 8月下旬 オープンキャンパス
- 11月上旬 法政祭
- 12月上旬 Uターン就職支援

# 4月初旬 同郷会登録勧誘

- 目的 学生生活・一人暮らしの相談窓口開設&会員獲得



HOW TO 一人暮らし  
配布



新入生の相談にのるスタッフ

## 4月中旬 同郷会交流会

- 目的 同じ地方の新入生と在学生在が交流し親睦を深める



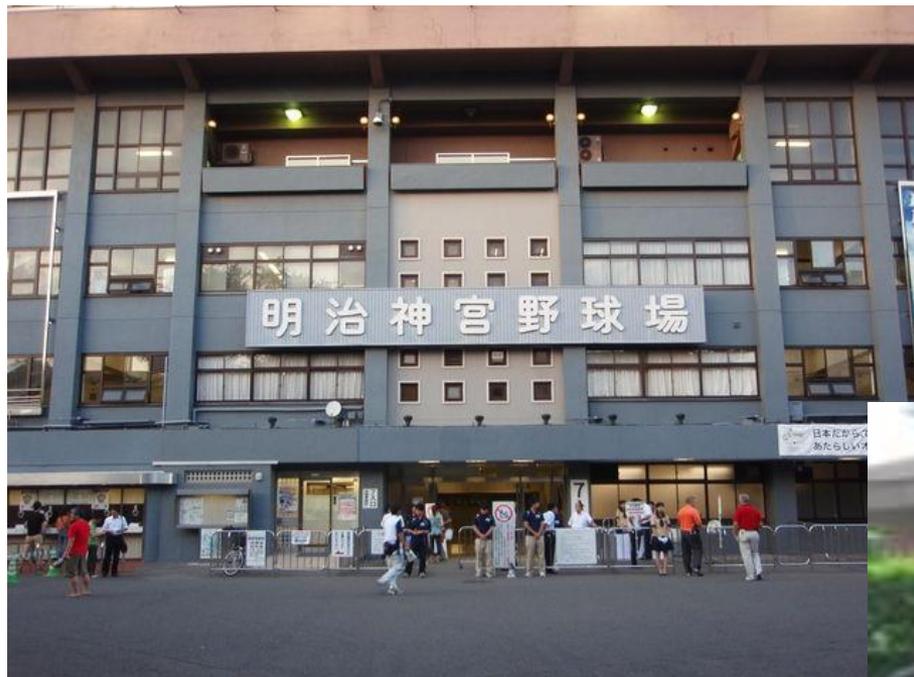
← 北海道・東北ブロック

関東ブロック



# 4月下旬 六大学野球観戦ツアー

- 目的 新入生に大学生活の楽しみ方を知ってもらう



← 明治神宮球場

応援団との記念撮影



# 8月下旬 オープンキャンパス

- 目的 課外活動としての7つのプロジェクトを受験生に紹介



← 7つのプロジェクトをパネルで紹介

受験生の相談ブースを開設

プロジェクトについて説明するスタッフ



# 11月上旬 法政祭

- 目的 同郷会の知名度アップ



← おつまみから地酒まで販売

取材を受けました



# 12月上旬 Uターン就職支援

- 目的 Uターンのための企業情報を提供



← メディアラウンジに展示

11県の企業情報を展示



## 今年度の活動計画

- 4月:①新入生勧誘活動 ②同郷会交流会
- 5月:①他大学交流会 ②六大野球観戦
- 6月:入会説明会
- 7月:前期総会
- 8月:法政フェア出張(宮城県)
- 10月:六大野球観戦
- 11月:神奈川県人会交流会
- 12月:①後期総会 ②Uターン就職支援
- 2月:Uターン者交流会
- 3月:新入生歓迎会準備

## これまでの問題点

- スタッフの慢性的不足と流動性
- スタッフ内で目的の共有がなされていない
- ノウハウ不足
- 登録してくれた会員への対応
- 安心できる居場所(部屋)の提供ができていない

## これからの課題

- スタッフ不足の解消と目的を共有できるスタッフの確保
- サークルとの差別化
- 都道府県人会をどのように立ち上げていくか
- 大学のさらなる協力

2007年度 文部科学省・学生支援GP採択「Hosei PSC」

# 課外教養プログラムプロジェクト 活動報告

2009. 9. 26



# ところで「課外教養プログラム」って？

いつもの授業とは、一味違う体験ができます。

- 「自分を高める」ための講座があります。  
アサーション、ファシリテーション、コミュニケーション、ボイストレーニング など
- 「人のために役に立つ」講座があります。  
ノートイク講座、手話講座、上級救命講習会、災害救援ボランティア講座 など
- あの催しに付加価値をつけて提供します。  
事前レクチャー付きオペラ・バレエ鑑賞、古典芸能鑑賞（歌舞伎、寄席、落語） など
- あのコンサートを、学内で鑑賞できます。  
NHK交響楽団、特別企画（ミュンヘンフィルハーモニー管弦楽団、山下洋輔） など
- みんなで「法政スポーツ」を応援します。  
六大学野球、サッカー、アメフト、ラグビー、箱根駅伝 など

しかも、通常、数千円～数万円する催しへの参加費の、ほとんどが「無料」。  
そのヒミツは、大学が負担しているからなのです。

# それで「KYOPRO」って、何するの？

学生と大学と協働し、プログラムをつくります。

- 学生がつくる、学生のためのプログラム
- プログラム運営を通じた「学生サポート」

プログラムの企画・運営を通じて、

「参加者間の交流」「学びのきっかけづくり」

をサポートします。

# 「KYOPROスタッフ」のメリットは？

「クラス・ゼミ」、「クラブ・サークル」とは異なる、新しいコミュニティ

- プロジェクト活動を通じた「社会人基礎力」の養成  
企画～運営まで、実践的な活動ができます。
- 学部学科・学年・キャンパスを超えた、法大生との出会い  
日頃接点のない法大生と出会い、刺激を受けます。
- 各種「スタッフ向けセミナー」でスキルアップ
- 全てのコストを、学生センターがバックアップ

現在、9学部・36名で活動しています。



企画の一例

KYOPR



文部科学省学生支援GP採択 学生センター・課外教養プログラム 共催：法政大学体育会

# オレンジアスリートフォーラム



# オレンジアスリートフォーラム



チーム阿波踊り



講演企画「ふるえるスタジアム」

# 「KYOPROスタッフ」の声

スタッフに、インタビューしてみました。

- 他キャンパスの学生と触れ合えて楽しい。刺激になります！
- 他キャンパスを知らないまま卒業してもおかしくない。  
これをきっかけに、他キャンパスにも行きやすくなります！
- 希望していたゼミの選抜に漏れ、ゼミに所属していません。  
プロジェクトに打ち込みたいと思います！
- 編入学のため、ゼミやサークルに所属していません。  
出遅れ感を払拭したいです！
- 大学で特に面白いことがありません。  
プロジェクトをきっかけに無気力から脱却したいです。

クラス・ゼミ（正課教育）、クラブ・サークル（正課外教育）に次ぐ、「第3のコミュニティ」になり得ている、と言える。

# KYOPRO 課題と今後の展開

## ●ミーティング方法の工夫

授業、ゼミ、バイト、サークル、学外での活動…。とにかく学生は忙しい。。。

## ●プログラム数を増やす、一方で、プログラムの質を高める

学内他部局からのアドバイス、教員・外部専門家からのアドバイス

## ●スタッフ・モチベーションの維持

後輩を育てる、各キャンパス・リーダーを育てる

**KYOPRO** を通じて、学内に「ピア・サポート」の循環を創り出す



ご清聴ありがとうございました。